

事業概要

(平成6年度のまとめ)

京都府立図書館

目 次

1. 平成6年度の主な動き	1
2. 利用状況	3
(1) 個人貸出	3
(2) 個人貸出登録	3
(3) 1日平均個人貸出	3
(4) 地方分館団体貸出	4
(5) 「図書館資料広域貸出事業」による大量貸出	4
(6) 「貸出文庫事業」による大量貸出	4
(7) 図書館間相互貸借	5
(8) 読書相談	7
(9) 複写利用	7
(10) 他の図書館等の資料複写サービスの利用	7
(11) 障害者の利用	7
(12) 連絡協力車の利用	7
(13) その他	8
3. 図書館資料	9
(1) 図 書	9
○蔵書冊数	9
○分類別冊数	10
(2) 逐次刊行物	11
4. 図書館の行事	12
5. 沿 革	13
6. 経 費	18
7. 組 織	19
8. 施設の概要	19
9. 利用案内	20

1. 平成6年度の主な動き

府立図書館は、府域における中核的図書館として来館利用者の生涯学習を援助するとともに、市町村立図書館等への補完的役割をもつ広域図書館として、府内市町村と協力しながら公共図書館事業を進めている。平成6年度の本館の開館日数は264日である。

(蔵書数)

本年度中の資料収集については、寄贈図書3,789冊を含め24,579冊を受け入れ、蔵書冊数は450,213冊となった。 <9頁参照>

(図書館協力貸出)

市町村図書館等からのリクエストによる貸出冊数は12,739冊となった。当事業は今や定着してきている。 <5頁参照>

(図書館資料広域貸出事業)

図書館未設置自治体に住む府民にも図書館資料の利用を図るとともに府全域における図書館活動の振興をめざして平成元年度から実施している事業である。

本年度は、事業既実施の20町村に補充貸出を行った。

これら読書施設は、身近な図書館サービスの窓口として住民に親しまれている。

平成6年度末現在24町村に112,500冊の図書を貸出している。 <4頁参照>

(連絡協力車の運行)

44市町村を、北部16市町2コースは月1回、他の28市町村4コースは月2回の巡回を行った。

読書施設への助言や、約46,000冊の図書の搬送を行うとともに、約370件の運営相談に応じた。

「連絡協力車だより」を毎月発行し、市町村との連携を一層強めた。 <7頁参照>

(障害者サービス)

視覚障害のある人々の図書館利用を図るために資料の対面朗読サービスを行っている。本年度は延べ61人の利用があった。 <7頁参照>

(読書推進講座)

府民の読書への関心を高め、自主的な生涯学習に役立てるため実施しているもので、京都府の施設開放講座の一環として位置付けられている。

本年度(第13回読書推進講座)は「文学探検 京都のなかの江戸文学」をテーマに6回の連続講座形式で実施し、延べ306人の受講があった。 <12頁参照>

資料及び利用の状況（平成6年度）

収集資料	図 書 24,579冊		蔵書冊数	本 館	392,473冊
	逐次刊行物 2,754タイトル			中京分館	31,631冊
				地方分館	峰山13,723冊 宮津12,386冊
				計	450,213冊
貸出状況	個人貸出	本館	46,141人（うち児童9,500人）	111,587冊（うち児童26,422冊）	
		中京分館	19,485人	45,958冊	
		峰山地方分館	3,935人（うち児童2,003人）	10,854冊（うち児童 6,832冊）	
		宮津地方分館	1,546人（うち児童 916人）	8,223冊（うち児童 5,239冊）	
		小 計	71,107人（うち児童12,419人）	176,622冊（うち児童38,493冊）	
	市町村貸出	図書館資料広域貸出	24町村	112,500冊（うち継続102,500冊）	
		貸出文庫	19市町村	31,980冊	
		協力貸出	44市町村 53館（室）	12,169冊	
		特別貸出	6 市町村	494冊	
		小 計		157,143冊	
その他の貸出	府内学校図書館等への協力貸出	10施設	550冊		
	他府県図書館等への協力貸出	12施設	20冊		
	地方分館からの団体貸出	延べ30件	1,310冊		
	小 計		1,880冊		
総貸出冊数				335,645冊	
調査相談（本館）		府内市町村図書館（室）から 2,005件	計 5,396件		
		その他の図書館等から 441件	（一日平均 20.4件）		
		個人等から 2,950件			
複写利用（本館）		4,898人	39,777枚 （1日平均 151枚）		
本館入館者数 （開館日数264日）		95,040人	（1日平均 360人）		
行事参加者数 （本館）		読書推進講座	6回連続講座	延べ306人	
		児童室おはなし会	11回	47人	
		計		353人	

2. 利 用 状 況

(1) 個 人 貸 出

館 名 / 区 分	登 録 者 数	貸 出 者 数	貸 出 冊 数
本 館	8,222人 (うち児童 723)	46,141人 (うち児童 9,500)	111,587冊 (うち児童 26,422)
中 京 分 館	1,391	19,485	45,958
峰 山 地 方 分 館	616 (うち児童 325)	3,935 (うち児童 2,003)	10,854 (うち児童 6,832)
宮 津 地 方 分 館	154 (うち児童 88)	1,546 (うち児童 916)	8,223 (うち児童 5,239)
計	10,383 (うち児童 1,136)	71,107 (うち児童 12,419)	176,622 (うち児童 38,493)

(2) 個人貸出登録

館 名 / 区 分	一 般	学 生 ・ 生 徒	児 童	合 計
本 館	3,145 人	4,354 人	723 人	8,222 人
中 京 分 館	1,120	271	—	1,391
峰 山 地 方 分 館	208	83	325	616
宮 津 地 方 分 館	42	24	88	154
計	4,515	4,732	1,136	10,383

(3) 一日平均個人貸出

館 名 / 区 分	開 館 日 数	一日平均貸出者数	一日平均貸出冊数
本 館	264 日	175 人	423 冊
中 京 分 館	282	69	163
峰 山 地 方 分 館	231	17	47
宮 津 地 方 分 館	203	8	41

(4) 地方分館団体貸出

分館名	区分	貸 出 件 数	貸 出 冊 数
峰 山 地 方 分 館		延 2件	511冊 (うち児童 282)
宮 津 地 方 分 館		延 28	799 (うち児童 558)
計		30	1,310 (うち児童 840)

(5) 「図書館資料広域貸出事業」による大量貸出

(単位：冊)

	継 続 貸 出 分	補 充 分		継 続 貸 出 分	補 充 分
宇 治 田 原 町	5,000		網 野 町	5,000	500
和 束 町	5,000		久 美 浜 町	5,000	500
瑞 穂 町	5,000		笠 置 町	3,500	500
三 和 町	5,000		夜 久 野 町	3,500	500
山 城 町	4,500	500	加 悦 町	3,500	500
京 北 町	4,500	500	岩 滝 町	3,500	500
美 山 町	4,500	500	丹 後 町	3,500	500
丹 波 町	4,500	500	弥 栄 町	3,500	500
日 吉 町	4,500	500	大 山 崎 町	4,000	500
南 山 城 村	4,000	500	八 木 町	4,000	500
伊 根 町	4,000	500	和 知 町	3,000	500
野 田 川 町	5,000	500			
大 宮 町	5,000	500	計	112,500冊	

元年度からの新規事業として実施したもので、図書館未設置町村に一定要件が満たされれば図書を一括大量に貸出すとともに、向こう4年間は補充貸出も行う内容のもので、府民の生涯学習に役立てるため実施している。

(6) 「貸出文庫事業」による大量貸出

市 町 村 名	貸 出 冊 数	市 町 村 名	貸 出 冊 数
向 日 市	852 冊	瑞 穂 町	1,000 冊
大 山 崎 町	400	福 知 山 市	1,010
井 手 町	7,700	舞 鶴 市	1,020
山 城 町	1,800	宮 津 市	504
和 束 町	4,000	網 野 町	511
南 山 城 村	4,199	峰 山 町	1,606
宇 治 田 原 町	1,300	弥 栄 町	148
京 北 町	470	大 宮 町	1,937
美 山 町	1,070	久 美 浜 町	1,000
八 木 町	1,453	合 計 (4市14町1村)	31,980

(7) 図書館間相互貸借

最近の府内市町村立図書館・図書室等の整備充実と住民の資料要求の高まりにより、府立図書館のこれら市町村立図書館施設等に対する資料援助が求められている。当館では、昭和58年6月から図書館相互貸借を本格化させたがその定着が顕著となっている。

① 他館への協力貸出

	館 数	冊 数
市 町 村 図 書 館 等 へ の 貸 出 ※	53	本館から 11,009
		中京分館から 1,160
府 内 学 校 図 書 館 等 へ 貸 出	10	本館から 531
		中京分館から 19
他 府 県 図 書 館 等 へ 貸 出	12	本館から 19
		中京分館から 1
計	75	12,739
前 年 度	94	13,832

② 特 別 貸 出 精華町立図書館他 10件 494冊

③ 借 受 提 供

	件 数	冊 数	備 考
府内市町図書館等から	100	146	* 大阪府立中之島及び 夕陽丘図書館から 54冊
国立国会図書館から	26	39	
他府県図書館等から*	97	134	
計	223	319	
前 年 度	172	252	

※ 市町村立図書館等への協力貸出の内訳

市 町 村 名	貸 出 冊 数	市 町 村 名	貸 出 冊 数
向 日 市	266	日 吉 町	157
長 岡 京 市	173	瑞 穂 町	304
大 山 崎 町	269	和 知 町	122
宇 治 市	499	綾 部 市	409
城 陽 市	1,320	福 知 山 市	93
八 幡 市	655	舞 鶴 市	448
久 御 山 町	175	三 和 町	61
田 辺 町	229	夜 久 野 町	41
井 手 町	78	大 江 町	5
宇 治 田 原 町	458	宮 津 市	182
山 城 町	513	加 悦 町	52
木 津 町	745	岩 滝 町	45
加 茂 町	910	伊 根 町	8
笠 置 町	308	野 田 川 町	57
和 束 町	287	峰 山 町	35
精 華 町	575	大 宮 町	324
南 山 城 村	190	網 野 町	185
京 北 町	102	丹 後 町	21
美 山 町	1,055	弥 栄 町	27
亀 岡 市	286	久 美 浜 町	79
園 部 町	49	京 都 市	125
八 木 町	66	計 44市町村 12,169冊	
丹 波 町	181	前年度 44市町村 13,294冊	

(8) 読書相談（レファレンス）

本館での読書相談は利用者の質問内容も幅広く、府内市町立図書館・読書施設からの相談も増えてきている。そのため類縁機関との相互協力がますます必要となっている。

平成6年度の相談件数は次のとおりである。

区 分 事 項	来 館 者 相 談		電 話	文 書	計	前 年 度
	資料調査	利用案内				
読書相談件数 (うち児童室)	452 (140)	1,086	3,800 (495)	58	5,396 (635)	6,187 (687)
1 日 平 均	5.8		14.4	0.2	20.4	22.3

(9) 複 写 利 用

利 用 人 員	複 写 枚 数	1 日 平 均 利 用 人 員	1 日 平 均 複 写 枚 数
4,898人	39,777枚	18.6人	151枚
前年度 5,119人	42,111枚	18.4人	152枚

(10) 他の図書館等の資料複写サービスの利用

	件 数	点 数	備 考
国 会 図 書 館 か ら	18	21	
他 府 県 図 書 館 等 か ら	1	1	
計	19	22	
前 年 度	11	14	

(11) 障害者の利用

視覚障害のある人々の図書館利用を図るため、朗読者の協力による対面朗読を実施した。

利用者 延 61人

(12) 連絡協力車の運行

京都府内の各図書館等との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集等を行うため、下記のとおり6コースに分け、44市町村の図書館（室）及び府立図書館中京分館、宮津地方分館、峰山地方分館に月1～2回、合計110回運行した。

(ア) コース

Aコース：府立図書館 — 亀岡市立図書館 — 八木町立郷土資料館図書室 — 園部町立園部図書館 — 日吉町ふるさと文庫 — 丹波町中央公民館図書室 — 瑞穂町教育委員会 — 府立図書館

Bコース：府立図書館 — 八幡市立八幡市民図書館 — 田辺町立中央図書館 — 精華町立図書館 — 木津町中央図書館 — 加茂町立図書館 — 和束町体験交流センター図書室 — 笠置町中央公民館図書室 — 南山城村図書室 — 府立図書館

Cコース：府立図書館 — 宇治市中央図書館 — 宇治田原町中央公民館図書室 — 井手町図書館 — 山城町図書室 — 城陽市立図書館 — 久御山町立図書館 — 大山崎町中央公民館図書室 — 長岡京市立図書館 — 向日市立図書館 — 府立図書館

Dコース：府立図書館 — 府立総合資料館 — 京北町文化センター図書室 — 美山町中央公民館図書室 — 和知町立ふれあいセンター図書室 — 京都市中央図書館 — 府立図書館中京分館 — 府立図書館

Eコース：府立図書館 — 綾部市立図書館 — 福知山市立図書館 — 夜久野町教育委員会 — 大江町図書館 — 舞鶴市立図書館（東・西） — 宮津市立図書館 — 府立図書館宮津地方分館 — 岩滝町教育委員会 — 伊根町教育委員会 — 三和町図書室 — 府立図書館

Fコース：府立図書館 — 加悦町教育委員会 — 野田川町教育委員会 — 大宮町教育委員会 — 峰山町立図書館 — 府立図書館峰山地方分館 — 弥栄町教育委員会 — 丹後町教育委員会 — 網野町図書室 — 三和町図書室 — 府立図書館

(イ) 搬送の内訳

相互貸借図書 34,731冊（市町村への搬入12,797冊 市町村からの搬出14,078冊
市町村相互7,856冊）

広域貸出事業図書 9,650冊

寄贈図書等 1,576冊

(ウ) 運営相談 約370件

(13) その他

- 「連絡協力車だよりNo.30～No.41」を刊行した。
- 大学の図書館司書課程実習生（4人）の受入れを行った。

3. 図書館資料

平成6年度における図書館資料は次のとおりである。

(1) 図 書

○ 蔵 書 冊 数

区分 館 名		平6.4.1 現 在 蔵 書 数	受入冊数	内 訳			館 内 移 動	払 出	平7.3.31 現 在 蔵 書 数
				購 入	寄 贈	その他			
本 館	閱 覧 課	200,160	9,530	6,329	2,750	451	0	0	209,690
	振 興 課	170,959	11,824	11,824	0	0	0	0	182,783
中 京 分 館		29,593	2,038	993	1,039	6	0	0	31,631
峰山地方分館		13,083	640	640	0	0	0	0	13,723
宮津地方分館		11,839	547	547	0	0	0	0	12,386
計		425,634	24,579	20,333	3,789	457	0	0	450,213

○ 障害者用資料（上記蔵書数に含む）

資料	区 分	受 入 数	平 7 . 3 . 3 1 現 在
テ ー プ 図 書		41点 (54巻)	673点 (1,573巻)
大 活 字 本		85冊	907冊
点 字 図 書		1 タ イ ト ル (1 冊)	126 タ イ ト ル (662冊)

分 類 別 冊 数

(平 7 . 3 .31現在)

分類	館 名	本 館				中京分館	百 分 比	峰山地方 分 館	百 分 比	宮津地方 分 館	百 分 比	合 計	百 分 比
		閲 覧 課	百 分 比	振 興 課	百 分 比								
0 総 記		冊 7,922	% 3.8	冊 1,028	% 0.6	冊 1,241	% 3.9	冊 112	% 0.8	冊 145	% 1.2	冊 10,448	% 2.3
1 哲学・宗教		8,128	3.9	2,131	1.2	1,094	3.5	197	1.4	120	1.0	11,670	2.6
2 歴史・地誌		17,276	8.2	6,370	3.5	2,380	7.5	410	3.0	297	2.4	26,733	5.9
3 社会科学		31,515	15.0	7,250	4.0	3,797	12.0	880	6.4	526	4.2	43,968	9.8
4 自然科学		11,028	5.3	4,102	2.2	1,405	4.5	261	1.9	330	2.7	17,126	3.8
5 工 業		9,529	4.5	9,741	5.3	1,438	4.5	374	2.7	722	5.8	21,804	4.8
6 産 業		5,681	2.7	2,586	1.4	545	1.7	134	1.0	162	1.3	9,108	2.0
7 芸 術		13,139	6.3	6,108	3.3	1,807	5.7	435	3.2	427	3.4	21,916	4.9
8 語 学		2,770	1.3	1,037	0.6	385	1.2	61	0.5	39	0.3	4,292	1.0
9 文 学		37,317	17.8	46,305	25.3	17,539	55.5	3,884	28.3	2,869	23.2	107,914	24.0
小 計		144,305	68.8	86,658	47.4	31,631	100.0	6,748	49.2	5,637	45.5	274,979	61.1
児 童 書		34,217	16.3	96,125	52.6	—	—	6,975	50.8	6,749	54.5	144,066	32.0
文 庫 整 理		2,879	1.4									2,879	0.6
旧 分 類		8,440	4.0									8,440	1.9
そ の 他		19,849	9.5									19,849	4.4
合 計		209,690	100.0	182,783 [※]	100.0	31,631	100.0	13,723	100.0	12,386	100.0	450,213	100.0

※ 振興課図書の中に図書館資料広域貸出事業図書 112,500 冊を含む。

(2) 逐次刊行物

○ 平成6年度購入タイトル数

種 別 \ 館 名	新 聞 (官 報)	雑 誌	計
本 館	11	160 (うち点字3)	171
中 京 分 館	6	35	41
宮 津 地 方 分 館	1	2	3
峰 山 地 方 分 館	1	1	2

○ 寄贈タイトル数 (本館)

分 類 区 分	タ イ ト ル 数
図 書 館 関 係	62
学 校 紀 要 関 係	432
一 般 雑 誌 ・ そ の 他	2,043
計	2,537

4. 図書館の行事

(1) 本 館

○府民の生涯学習に役立てる事業として読書推進講座を開催した。

月 日	行 事 名	会 場	内 容	参加者
10. 21～ 11. 26 (6 回)	読書推進講座	府立図書館 他	「文学探検 京都のなかの江戸文学」 ～元禄の文学・天明の文学～ 講師・京都府立大学女子短期大学部 教授 藤 田 真 一 ・同志社女子大学短期大学部 教授 広 瀬 千紗子 ・甲南女子大学文学部 助教授 大 高 洋 司	延 306人



受 講 風 景



金 福 寺 に て

(2) 本館児童室

地域の子どもたちが、図書館や本に親しむ機会を設けるため“おはなしの会”を開催した。

年 11回 参加者 47人

5. 沿革

- 明治31年(1898) 4 月 府立京都図書館御苑内創立
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6 月 業務開始
- 33年(1900) 夜間開館開始
館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
- 36年(1903)10月 巡回図書館（貸出文庫）制度開始
- 37年(1904) 3 月 湯浅吉郎館長就任
- 38年(1905) 4 月 児童室開設
- 39年(1906) 6 月 館外貸与規則制定告示
- 〃 11月 新館起工式
- 42年(1909) 2 月 新館竣工
- 〃 3 月 京都府立京都図書館規則告示
- 〃 4 月 新館開館
- 大正 5 年(1916) 5 月 湯浅吉郎館長退職
- 〃 10月 北畠貞顕館長就任
- 8 年(1919) 1 月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年(1922) 4 月 貸出文庫を増設
- 14年(1925) 3 月 児童室閉鎖
- 昭和 3 年(1928) 3 月 帯出規程告示
- 〃 4 月 個人貸出実施
- 〃 6 月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 9 年(1934)10月 京都府中央図書館に指定
- 15年(1940)11月 北畠貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
- 16年(1941) 5 月 児童室復活開室
- 22年(1947) 7 月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任
- 〃 8 月 館外貸出廃止
- 23年(1948) 4 月 児童室を元貴賓室に移転
- 〃 9 月 読書ルーム開設（河原町丸善京都店地下）
- 24年(1949) 4 月 読書相談開始
- 〃 6 月 河原町分館開館（河原町丸善京都店地下）
- 25年(1950) 2 月 伏見分館開館（伏見信用金庫 2 階）

昭和25年(1950) 3 月 巡回図書館（貸出文庫）廃止

〃 6 月 宮津地方分館開館（宮津町役場内）

〃 7 月 綾部地方分館（綾部市立図書館内）及び
峰山地方分館（丹後地方教育局内）開館

〃 8 月 学生自由閲覧室新設

〃 11月 京都府立図書館設置条例公布（条例第62号）

26年(1951) 4 月 上京分館開館（北区紫郊会館内）

〃 9 月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館

〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置

〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施

〃 12月 本館新体制で開館

27年(1952) 6 月 本館読書相談係設置

〃 7 月 園部地方分館（園部町立図書館内）
北桑田地方分館（京北町下中）及び
木津地方分館（旧役場内）開館

28年(1953) 4 月 宮津地方分館移転（宮津市立図書館内）
本館 月曜日休館を実施

29年(1954) 2 月 伏見分館新築工事着工

〃 7 月 木津地方分館移転（木津小学校内）
伏見分館庁舎竣工移転

〃 9 月 京都府立図書館「善本目録」作製

30年(1955) 6 月 峰山地方分館移転（丹波公民館内）

〃 9 月 青年学級文庫実施

31年(1956) 5 月 上京分館移転（桜谷文庫内）

〃 9 月 河原町分館閉館

32年(1957) 6 月 中京分館（河原町分館改称）開館（烏丸庁舎内）

〃 10月 宮津地方分館移転（労働セツルメント内）

35年(1960)10月 中京分館館外貸出実施

37年(1962) 9 月 峰山地方分館移転（丹波小学校内）

38年(1963) 3 月 本館読書相談係・学生自習閲覧室・貸出文庫閉鎖
蔵書の一部を府立総合資料館へ移管

〃 5 月 木津地方分館移転（町民センター内）

〃 7 月 綾部地方分館移転（市民センター内）

昭和38年(1963)10月 西村精一館長転出（京都府立総合資料館長へ）
相馬利雄館長就任

〃 11月 本館 日曜・土曜午後・夜間を休館

〃 12月 児童室 土・日曜休室

39年(1964) 1月 本館外装改修工事

〃 5月 本館夜間・土曜午後再開（9時まで） 貸出室設置
児童室館外貸出実施 土曜日開室
宮津地方分館移転（宮津市立図書館内）
伏見分館館外貸出実施

〃 7月 市内分館 日曜日休館を実施

40年(1965) 1月 中京分館仮移転（京一商同窓会館）

〃 7月 児童室に母親文庫設置

〃 9月 府教育委員会基本規則一部改正
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施

〃 11月 中京分館移転（京都府中京庁舎内）

41年(1966) 9月 綾部地方分館閉館

〃 11月 園部地方分館閉館
自動車文庫命名式（蜷川知事「あゆみ号」と命名）移動図書館事業開始

42年(1967) 7月 本館修繕工事

〃 9月 貸出室移転再開

44年(1969)12月 本館夜間閉館時間（7時）に変更

45年(1970) 8月 相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出
岩崎彰之助館長就任

46年(1971) 8月 宮津地方分館新宮津市立図書館内に移転
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウ
ン方式に切替

47年(1972) 4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任

〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新

48年(1973) 4月 上京分館館外貸出実施

〃 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任

49年(1974) 4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任

50年(1975) 3月 木津地方分館閉館
身体障害者用 便所・スロープ新設
宮本英男館長退職

- 昭和50年(1975) 4 月 布村忠雄館長就任
- 〃 5 月 本館（閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設）内装工事
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 51年(1976) 4 月 本館閲覧用目録作成に着手
- 〃 5 月 上京分館閉館（51.5.8）
- 〃 6 月 京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く
- 〃 7 月 児童室改修工事
- 53年(1978) 3 月 本館改修工事（外装・屋根葺替・玄関・防災設備）
本館閲覧用目録整備完了
- 54年(1979) 3 月 本館書庫の改修工事
- 〃 4 月 国会図書館からの図書貸出制度発足
本館自習室を閉鎖
- 〃 7 月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了
- 〃 8 月 北桑田地方分館仮移転（京北農業協同組合弓削支所内）
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
「専門情報機関要覧」刊行
- 55年(1980) 3 月 北桑田地方分館閉館（55.3.31）
- 〃 4 月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任
峰山地方分館移転（峰山町中央公民館内）
- 56年(1981) 4 月 長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任
- 〃 9 月 移動図書館用電動集密書架設置
- 〃 12月 伏見分館改修工事
- 57年(1982) 4 月 伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託
- 〃 7 月 障害者サービス（対面朗読）実施
- 58年(1983) 2 月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施
- 〃 3 月 「京都府の公共図書館」刊行
伏見分館 ブックポスト設置
- 〃 6 月 図書館協力貸出本格実施
- 〃 7 月 新着図書案内発行
- 59年(1984)12月 連絡協力車試験的運行開始（2コース）
- 60年(1985) 7 月 国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
- 61年(1986) 8 月 京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館
のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問

- 昭和61年(1986)12月 昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
12月4日～5日 会場 京都堀川会館
- 62年(1987)10月 国立国会図書館とオンライン実施
伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館廃止(63.3.31)
- 63年(1988)3月 「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
- 平成元年(1989)7月 浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 9月 上田将館長退任、林芳男館長就任
- 〃 10月 図書館資料広域貸出事業開始
- 〃 〃 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
- 2年(1990)3月 京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
- 〃 〃 「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
- 〃 4月 連絡協力車事業本格実施
- 〃 6月 機構改革により本館は4課組織に
- 〃 12月 移動図書館事業終了
- 3年(1991)3月 本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室・休憩室・ロッカー室・点字コーナー配置換)
- 〃 4月 ロッカーを自主管理方式に
- 〃 6月 マイクロリーダプリンターのサービス開始
- 〃 8月 「連絡協力車だより」発刊
- 4年(1992)4月 林芳男館長退任、柴田實館長就任
- 〃 9月 毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
- 5年(1993)3月 「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
- 6年(1994)3月 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
- 〃 5月 柴田 実 館長退任
- 〃 6月 高木多喜男館長就任
- 7年(1995)2月 阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事实施
- 〃 5月 本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)

6. 経 費

平成6年度における経費は、次のとおりである。

科目	事 項	金 額	比 率	備 考
図 書 館 費	人 件 費	308,347 ^{千円}	82.1 %	
	図 書 館 資 料 費	32,137	8.5	
	図 書	30,127	8.0	○広域貸出事業図書費 11,330千円
	定期刊行物	2,010	0.5	
	そ の 他 経 費	32,414	8.6	
	計	372,898	99.2	
総社会 務教育 費	生涯教育推進費	309	0.1	読書推進講座 300千円 その他 9千円
事務局費	図 書 館 維 持 管 理 費	2,494	0.7	雨樋修理工事 412千円 その他
合 計		375,701	100.0	

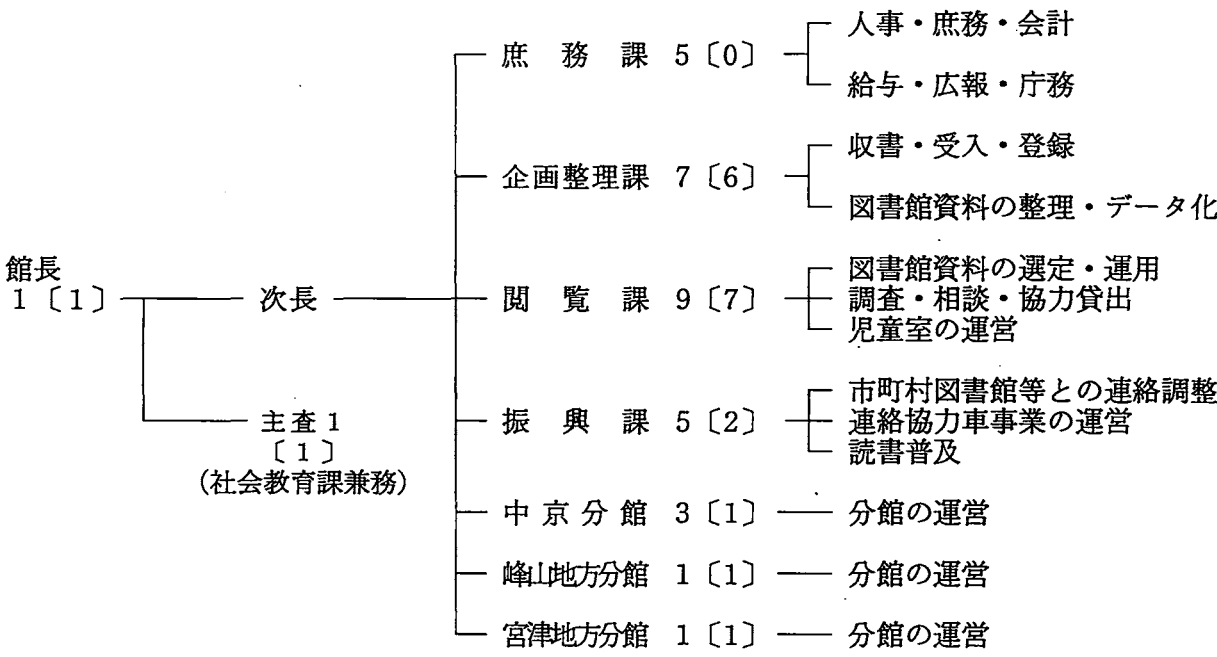
館 別 図 書 館 資 料 費 内 訳

区 分	図 書 費	定期刊行物費	計
本 館	15,947 ^{千円} (マイクロ292千円を含む)	1,426 ^{千円}	17,373 ^{千円}
中 京 分 館	1,290	498	1,788
地 方 分 館 等	1,560	86	1,646
広 域 振 興 事 業	11,330	—	11,330
計	30,127	2,010	32,137

7. 組 織

館長以下事務職員31名、技術職員 2 名、計33名（司書有資格者20名）である。組織を図示すると次のとおりである。（注〔 〕内は司書数）

（平 7 . 4 . 1 現在）



8. 施設の概要 （平 7 . 4 . 1 現在）

館 名	施 設 の 概 要	館 名	施 設 の 概 要
本 館 (明治31年) (4月開設)	敷 地 3,740.26㎡	峰 山 地 方 分 館 (昭和25年) (7月開設)	専有面積 57.00㎡
	建築面積 1,273.60㎡		構 造 鉄筋コンクリート3階建 (峰山町公民館)
	延 建 物 2,655.70㎡		建 築 年 昭和55年
	構 造 木造レンガ造3階建		庁 舎 の 所 有 峰 山 町
	建 築 年 明治42年		
中 京 分 館 (昭和24年) (6月開設)	専有面積 158.00㎡	宮 津 地 方 分 館 (昭和25年) (6月開設)	専有面積 52.95㎡
	構 造 鉄筋コンクリート造 (府中京庁舎2階)		構 造 鉄筋コンクリート2階建 (宮津市立図書館内)
	建 築 年 昭和40年		建 築 年 昭和46年
	庁 舎 の 所 有 京 都 府		庁 舎 の 所 有 宮 津 市

9. 利用案内

(1) 所在地一覧

館名	住所	電話
本館	〒606 京都市左京区岡崎成勝寺町9	771-0069(代)
中京分館	〒604 京都市中京区富小路二条上ル	211-5728
峰山地方分館	〒627 中郡峰山町字杉谷1030	0772-62-5100
宮津地方分館	〒626 宮津市鶴賀2164	0772-22-2730

(2) 開館時間

館名	開館日	開館時間
本館	月～土	9:30～19:00
中京分館	〃	12:00～18:00
峰山・宮津 地方分館	月～金 (但し4週1回月曜休) 第2・4土曜 (第1・3土曜休)	9:00～17:00 9:00～12:00

(3) 休館日

- 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- 日曜日
- 毎月の月末日
- 年末年始（12月27日から翌年1月4日まで）
- 特別整理期間（特に館長の定める期間）

事業概要（平成6年度のまとめ）

平成7年（1995）7月1日発行

発行者 京都府立図書館

〒606 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL（075）771-0069（代）

FAX（075）771-2743

印刷 株式会社 大気堂

TEL（075）361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。